

授業科目 基礎看護学方法論Ⅵ (フィジカルアセスメント 技術)	専任教員名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前/後 2年次/ 前期
講義のねらい	1 フィジカルアセスメントの意義を理解する。 2 フィジカルアセスメントの基礎的な知識を理解する。 3 フィジカルアセスメントの基礎的な技術が実施できる。 4 フィジカルアセスメントを活用して必要な看護援助を考えられる。			
授業形態	講 義 ・ 演 習			
講義内容	1 フィジカルアセスメントの意義 1)フィジカルアセスメントの意義 2)ヘルスアセスメントの関係性 2 フィジカルアセスメントに必要な技術 1)健康歴とセルフケア能力のアセスメント(問診の技術) 2)視診・聴診・触診・打診の技術 3)バイタルサインと計測 3 系統的アセスメントの実際 1)呼吸器系のアセスメント 2)循環器系のアセスメント 3)消化器系のアセスメント 4)筋・骨格系のアセスメント 5)神経系のアセスメント 6)感覚器系のアセスメント 7)乳房・腋窩のアセスメント <デモンストレーション・演習> ・バイタルサイン ・呼吸器系、消化器系、循環器系、感覚器系、神経系のフィジカルアセスメント			
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ (医学書院)			
参考文献	1 フィジカルアセスメントガイドブック 第2版 (医学書院) 1 看護技術講義・演習ノート 上巻 (サイオ出版) 1 看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント (メディックメディア)			
評価方法	終講試験 70点、課題レポート・演習態度 30点 合計 100点			
備考欄	・事前に演習を行う内容については、DVD等で確認しておく ・演習時の必要な準備については、演習前に示す ・演習項目については、授業終了後も練習をし、技術修得しておく (実習場における学生・患者相互の不安軽減に向けて努力しておく) ・教員とのコンタクトについては授業終了後又は終講時に案内する			